

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当(期末配当金)の基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
インターネットホームページ	<a href="https://www.tr.mufig.jp/">https://www.tr.mufig.jp/</a>
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="https://www.nozawa-kobe.co.jp">https://www.nozawa-kobe.co.jp</a> 不測の事態により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞・神戸新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	お手続き・お問い合わせ先
●お取引の証券会社等の口座で管理されている当社株式に関する配当金振込指定、単元未満株式買取請求、住所変更等のお手続き	お取引口座を開設されている証券会社
●未受領の配当金に関するお手続き ●特別口座で管理されている当社株式に関する配当金振込指定、単元未満株式買取請求、住所変更等のお手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)

特別口座について

特別口座では、株式のご売却はできません。  
証券会社に口座を開設いただき、お持ちの株式を当該口座に振り替えていただきますと、株式のご売却が可能となるばかりでなく、お持ちの株式の管理や株式に関するお手続きも当該証券会社で一括して行えるようになり便利です。

この報告書についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

お問い合わせ <https://www.nozawa-kobe.co.jp/ir/mail.php>



この報告書は、環境に配慮した植物油インキを使って印刷しています。

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第165期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)の「報告書」をお届けいたしますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

2025年6月



代表取締役社長 野澤 俊也

内装用ボード「フレキシブルシート素地シリーズ」がご好評を得て、増販となりました。

飛躍成長戦略では、他社・他部材との差別化につながる新商品の上市を推進しております。当期は10件の新商品・新仕様を発表しました。ロングセラーであるアスロック素地仕上品の新仕様「潤まだら(うるみまだら)」と「澄肌(すみはだ)」の2商品を投入し、仕上りのバリエーションを広げお客様のニーズに対応しました。デザインパネルでは、波打つような滑らかな凹凸の「ウェーブライン」と、石灰岩の重厚感を表現する「ライムロック」を追加しました。工場塗装品では、独特のムラが好評の複色塗装品「淡斑(あわむら)」について、光沢を抑えた新たな仕上げ「淡斑艶消し」と、不均一な仕上がり感をフラットパネルで再現する塗装仕上げ「彩雲(さいうん)」を発表。工法では従来より省施工化、副資材削減と耐震性向上を実現した「アスロックNeo-HS(ハイスpek)縦張り工法」の新仕様及び水密性能と耐震性をグレードアップした「アスロック」の施工省力化工法「NEW-LS(Labor Saving)工法」の販売を開始しました。

体質強化戦略では、原価低減、品質安定及び人的資本に関する取り組み等を推進しております。当期は、NNPS(ノザワ・ニュー・プロダクション・システム)改善活動によりエネルギー

効率や生産性の向上に取り組むとともに、品質検査の自動化を進めました。人材確保においては、当期もベースアップを実施し、また、技能職のスキルに応じて支給する「技能手当」の創設など、従業員エンゲージメント向上に努めました。

プラスONEでは、ESG経営に取り組んでおります。発電効率が従来比約50%向上する外壁太陽光パネル設置工法の本格発売に向けた実物件での検証の実施や、外国人技能実習生の受入れ、取締役及び従業員への譲渡制限付株式の割当てによる株価及び企業価値への貢献意欲の向上など、当期も環境、社会、企業統治に焦点を当てた事業活動を展開しました。

当期の業績につきましては、これらの戦略を実行しましたが、建設費用の急激な上昇や人手不足による建築計画の延期・見直しが増加しており、非木造着工床面積の統計も前年に続き当期も前年割れの状況で推移するなど厳しい事業環境が継続したこと等から、主力の「アスロック」売上高は前期比減収となりました。品種別売上高については、アスロックは106億1百万円(前期比4.7%減少)、住宅用高遮音床材は19億20百万円(前期比2.9%増加)、住宅用軽量外壁材は46億81百万円(前期比0.2%減少)となり、押出成形セメント製品合計では172億2百万円(前期比2.7%減少)に、耐火被覆等は10億85百万円(前期比23.6%減少)、スレート関連は9億40百万円(前期比2.1%増加)となったこと等から、当連結会計年度の売上高は219億54百万円(前期比4.9%減少)となりました。

利益面については、減収の影響等により、営業利益は16億80百万円(前期比5.6%減少)、経常利益は18億38百万円(前期比5.2%減少)、親会社株主に帰属する当期純利益は11億56百万円(前期比32.2%増加)となりました。

わが国経済の見通しにつきましては、力強さを欠きながらも景気は緩やかな持ち直し基調の維持が予想されますが、一方で米国新政権における通商政策の動向やウクライナ・中東情勢への関与動向により、経済・地政学の両面で不確実性を強めて推移することが懸念されます。建築材料業界におきましても、こうした不確実性を反映し、開発計画の中止・延期が更に増加・継続するリスクを孕んでおり、厳しい状況が続く見通しです。

このような状況のなか、当社は質・量ともにお客様にご満足いただける商品の安定供給を最重要課題として取り組み、「やすらぎと安心の創造」を提供する企業を目指します。

翌期も厳しい受注環境が続くと想定されますが、当社では、収益拡大戦略に基づき、一般建築向けであるアスロックにおいては、意匠・デザインの多様化、低価格帯の素地仕上品のラインアップの拡充、ニーズの高いムラ感のある塗装が可能な複色工場塗装品、施工省力化、工期短縮に貢献する工法の新仕様の発売により数量増を目指すとともに、引き続き高利益商品の重点的な拡販に注力いたします。スレートボードでは、素材の持つテクスチャーを高く評価されている「フレキシブルシート素地シリーズ」について、新たな商品展開のため名称を「ナチュラルレ(NATURALE)」に変更するとともに、海洋資源の有効活用へ貢献するべく、従来のナチュラルレに牡蠣の貝殻を織り混ぜた「シェルライン オイスター」を2025年4月に発売しました。今後もナチュラルレの商品群を充実させ、本格的な拡販を進めてまいります。

飛躍成長戦略では、社会環境の変化に伴うお客様のニーズの変化を捉え、性能・意匠・価格の面でお客様の要求に応える商品の創出に注力します。

体質強化戦略では、製造コストについては、原材料・エネルギー価格高騰によるコストアップを抑制するため、使用効率の改善に取り組むとともに、工場廃棄物ゼロを目指すリサイクルシステムを確立し、環境保全及び原価低減につなげてまいります。物流コストについては、少量物件の積み合わせによるトラック配車台数の低減及び物件ごとの積載効率向上による1台当たりの積載量の増加により、コストの削減を図ってまいります。また、DX・AIを活用し、事務作業の自動化を図り残業代を含めた人件費の低減を推進するとともに、設備化による省人化に取り組んでまいります。品質面では、製品検査の自動化と施工品質管理強化に継続して取り組み、製品品質と施工品質をレベルアップさせ、お客様の信頼と満足を獲得してまいります。また、2025年4月に新設した「人事部」を通じて企業の持続的な成長に必要な人材を確保・育成し、従業員満足度の向上や働きやすい職場環境の整備を実現してまいります。

このような事業展開により、2026年3月期の連結業績は、売上高225億円、営業利益20億70百万円、経常利益21億90百万円、親会社株主に帰属する当期純利益14億30百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当期の取り組みと業績

2025年3月期の連結業績は、最終利益ベースで前期比減収増益

当連結会計年度におけるわが国経済は、旺盛なインバウンド消費を背景として企業の景況感は改善が続いている一方、為替相場の乱高下や消費者物価の急激な上昇等、先行き不透明な状況で推移しました。建築材料業界におきましても、建設費高騰による建設計画の中止、延期が慢性的に発生しており、厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、中期経営計画である「収益拡大戦略」、「飛躍成長戦略」、「体質強化戦略」及びESG経営で構成される「全社三大戦略プラスONE」の戦略・施策を実行いたしました。

収益拡大戦略では、主力の一般建築向け押出成形セメント板「アスロック」において、高付加価値品の重点的な拡販を推進しております。当期は、近年発売したデザインパネルの「アスロックデザインパネルお試しキャンペーン」を実施し、木目の美しさを再現した「アスロックウッドデザインシリーズ」が増販となりました。工場塗装品についても、リーズナブルに工場塗装の美観を表現する「ニューカラリード」の販売を伸ばしました。スレートボードについては、セメントの質感を活かした

今後の見通し

# 株主還元方針変更について

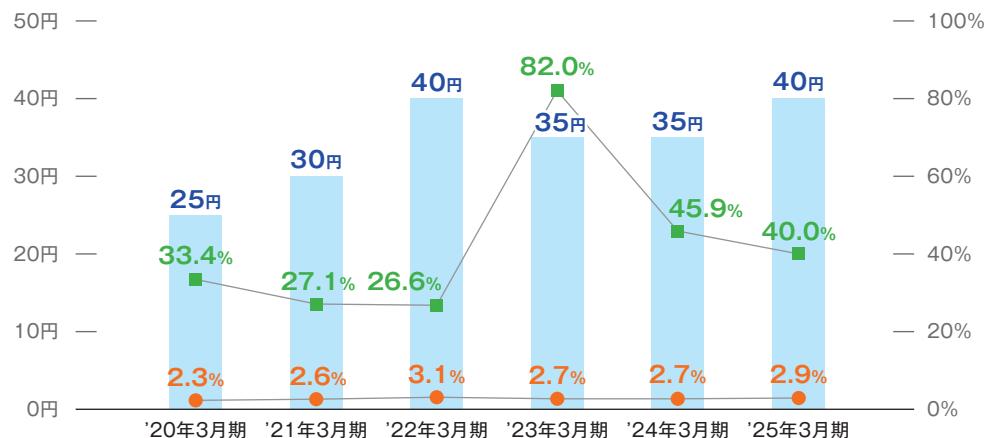
## 新たに DOE (株主資本配当率) を株主還元の指標として 2025年3月期より採用

当社は、業績に応じた利益還元に加え、安定的かつ継続的な配当を実現することで、株主の皆様への還元をさらに強化することを目的に、このたび、資本コストや株価を意識した経営を推進し、中長期的に当社株式を保有いただく株主の皆様への利益還元を一層充実させるため、新たにDOE (株主資本配当率) を株主還元の指標として2025年3月期より採用することを決定いたしました。

当社は、将来の設備投資、研究開発に備え、経営基盤及び財務体質を強化すべく内部留保の充実を前提に、連結配当性向30%またはDOE\* (連結株主資本配当率) 3.0%のいずれか高い方を目途とし、業績に見合った株主への安定的な配当の維持及び適正な利益還元に努めてまいります。

※DOE (連結株主資本配当率) = (年間配当総額 ÷ 連結株主資本) × 100  
 連結純資産から株式市場や為替動向で変動するその他の包括利益累計額を除いた連結株主資本をベースとする。

配当金推移 年間配当金/株 DOE 配当性向



# ESG経営への取り組み



## 製品を通じた環境貢献 海洋資源の有効活用に貢献した環境配慮内装ボード

「ナチュラル」の新商品「シェルイン オイスター」を2025年5月に発売しました。リサイクルした牡蠣殻を原材料として使用、SDGs目標12「つくる責任 つかう責任」に貢献する取り組みの一環として、資源循環型社会の実現に寄与する商品です。今後も、持続可能な社会の実現を目指し、環境に配慮した製品開発を積極的に進めてまいります。



## 従業員エンゲージメントの向上 ベースアップの実施、技能職のスキルに応じた「技能手当」を新たに創設

従業員が働きやすい環境を整備し、持続可能な成長を目指しています。人材確保の観点から、当期もベースアップを実施するとともに、技能職のスキルに応じた「技能手当」を新たに創設しました。これにより、従業員一人ひとりの努力や能力を適切に評価し、働きがいのある職場づくりを推進しています。今後も、従業員エンゲージメントの向上に努め、全ての従業員が安心して働ける環境を提供してまいります。



## 公正・透明な経営 2025年3月 従業員への譲渡制限付株式割当て

当社及び当社連結子会社の従業員に対し当社グループの企業価値の継続的な向上を図るインセンティブを与えるとともに、株主の皆様との一層の価値共有を進めることで株価上昇及び企業価値向上への貢献意欲を従来以上に高めることを目的として、従業員に対する譲渡制限付株式としての自己株式処分を行い、2023年から3年で合計319,600株を従業員に割当てました。

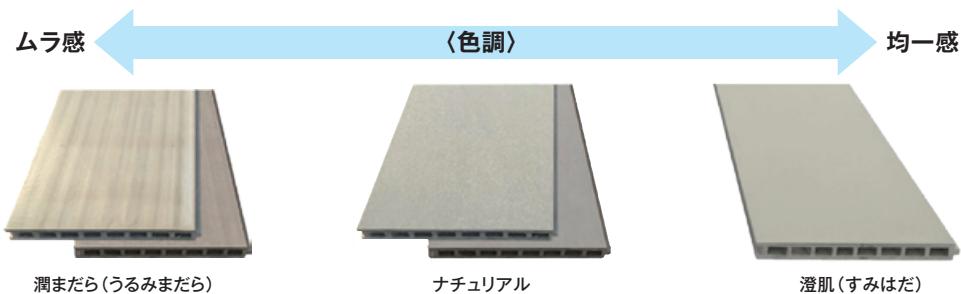
## 新商品発売

セメント系製品で唯一素材のままで使える、押出成形セメント板「アスロック」素地仕様に新たに2品種を発売

製造時のエフロや色調ムラを残した「潤みだら(うるみだら)」 **New** 2025年2月出荷開始

製造時のエフロや色調ムラを完全に除去「澄肌(すみはだ)」 **New** 2025年6月出荷開始

製造時のエフロを除去「ナチュラル」 **発売中**

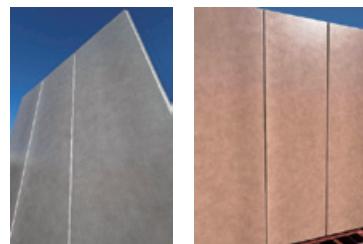


薄雲の様な揺らめく色彩斑を演出する

「彩雲(さいうん)」を発売 **New** 2025年4月出荷開始

工場塗装品ならではの高耐久性はそのままに、独自の塗装方法によりトップ色の濃淡を不均一に変化させ、薄く雲がかかった様に淡い色彩の斑を職人の手によることなく再現しています。

不均一な色彩斑が外観に奥行きある深みを演出します。



「彩雲(さいうん)」

## フレキシブルシート「素地シリーズ」の商品名を一新「ナチュラルレ(NATURALE)」へ

当社が1953年に独自開発し、1956年に特許を取得したフレキシブルシート。その中でも2018年に発売を開始し、多くのお客様からご好評をいただいている「素地シリーズ」の新たな展開に伴い、「ナチュラルレ(NATURALE)」へ名称を変更いたしました。

「ナチュラルレ」は、イタリア語で「素朴な」「自然のままの」という意味があり、フレキシブルシート「素地シリーズ」が持つ原材料の素地感をそのまま活かした風合いが特長のセメントボードのイメージを表現しました。

今後も「ナチュラルレ」を通じて、皆様に高品質で魅力的な製品をお届けしてまいります。



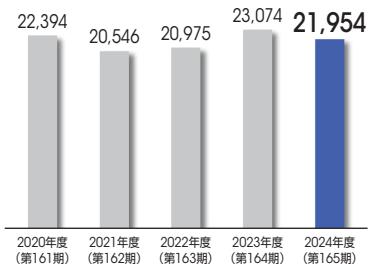
当社本社ビル「15番館」15階エレベーターホール  
使用基材:「ナチュラルレ(NATURALE)」「ベーシック」タイプB

## 売上高

21,954 百万円

前期比 4.9% 減

(百万円)



## 経常利益

1,838 百万円

前期比 5.2% 減

(百万円)

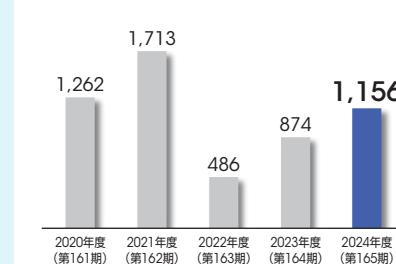


## 親会社株主に帰属する当期純利益

1,156 百万円

前期比 32.2% 増

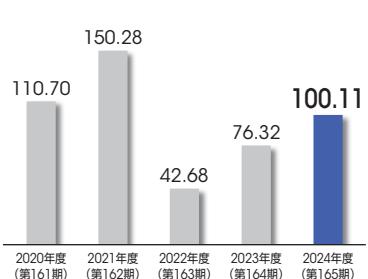
(百万円)



## 1株当たり当期純利益

100.11 円

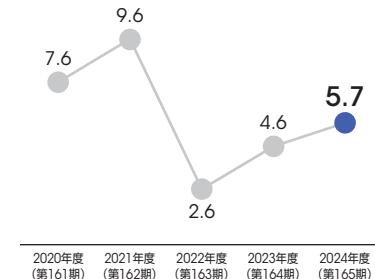
(円)



## 自己資本当期純利益率

5.7%

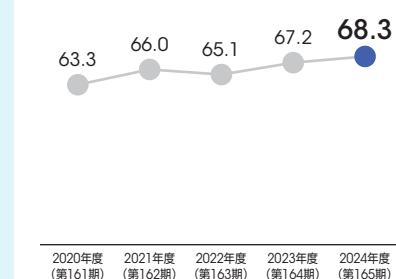
(%)



## 自己資本比率

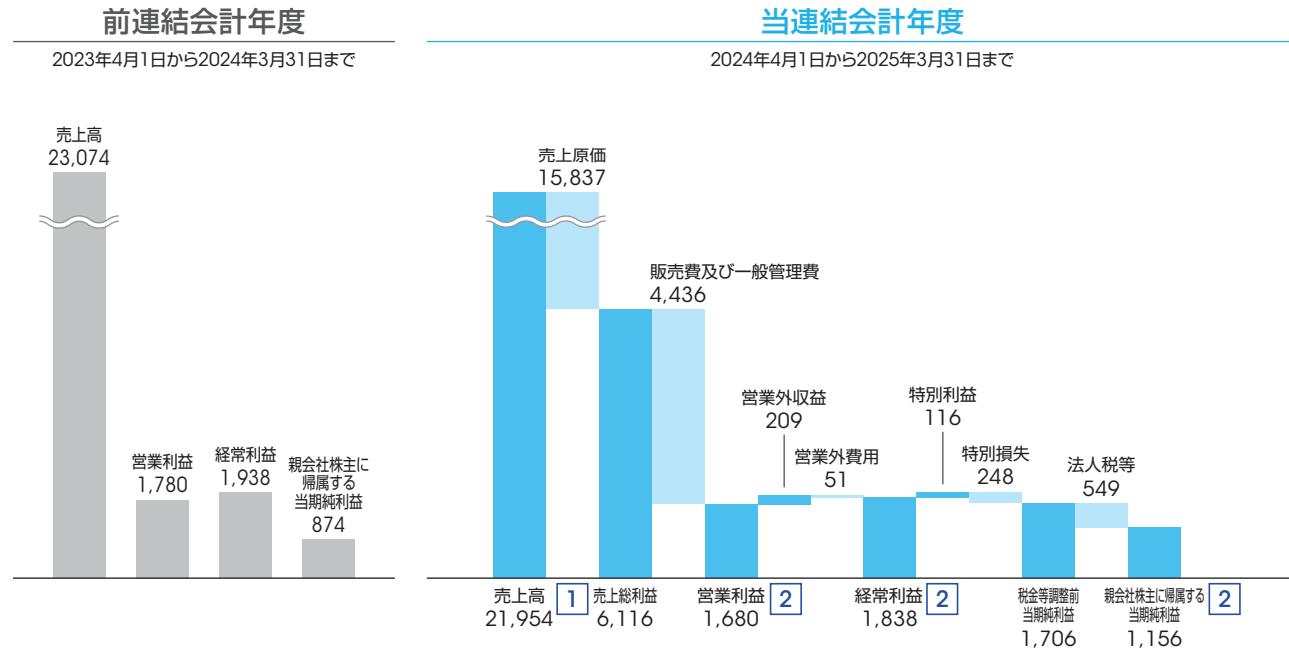
68.3%

(%)



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



POINT

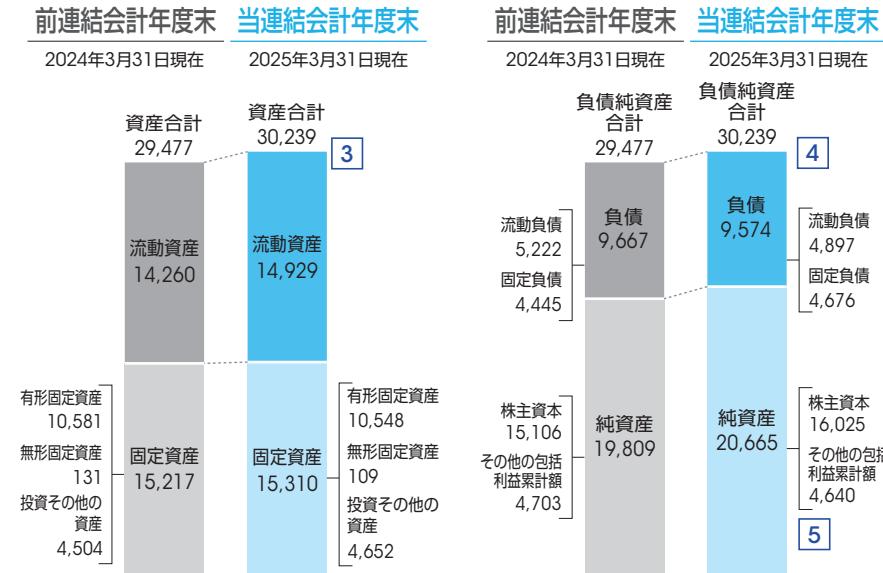
1 売上高の状況

品種別売上高については、アスロックは106億1百万円（前期比4.7%減少）、住宅用高遮音床材は19億20百万円（前期比2.9%増加）、住宅用軽量外壁材は46億81百万円（前期比0.2%減少）となり、押出成形セメント製品合計では172億2百万円（前期比2.7%減少）に、耐火被覆等は10億85百万円（前期比23.6%減少）、スレート関連は9億40百万円（前期比2.1%増加）となったことから、当連結会計年度の売上高は219億54百万円（前期比4.9%減少）となりました。

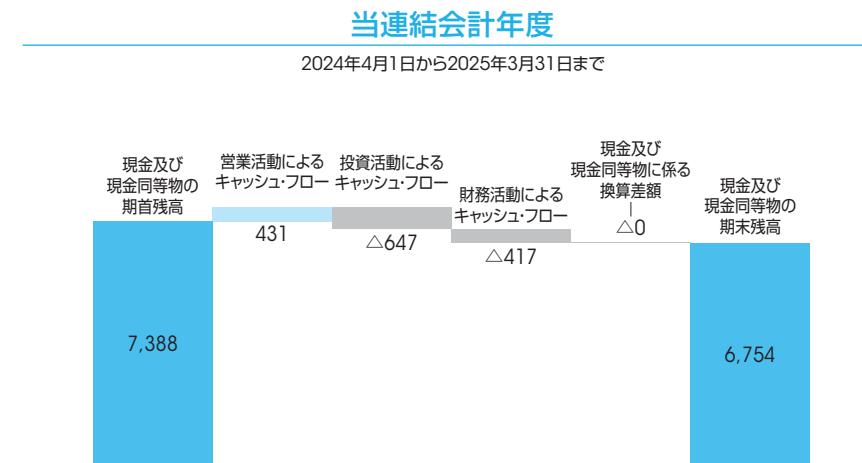
2 利益の状況

原材料価格は一貫して上昇、電力・ガスについても下半期より再び上昇、人件費についてもベースアップの実施や外注費増加により前期比増となりました。これらの要因により製造原価増となりましたが、工場では、NNPS（ノザワ・ニュー・プロダクション・システム）改善活動による生産性の向上により、売上原価の上昇額を圧縮、販売価格改定による増益効果や販管費において諸経費削減をすすめたものの、減収と原価上昇の影響等により、営業利益は16億80百万円（前期比5.6%減少）、経常利益は18億38百万円（前期比5.2%減少）、特別損失が好転したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は11億56百万円（前期比32.2%増加）となりました。

連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



POINT

3 資産の状況

「現金及び預金」が6億33百万円減少したものの、「電子記録債権」が20億63百万円、「投資その他の資産」が1億48百万円増加したこと等から、「資産合計」は、前連結会計年度末に比べ7億62百万円増加し302億39百万円となりました。

4 負債の状況

「未払法人税等」が1億29百万円、「訴訟損失引当金」が1億76百万円増加したものの、「支払手形及び買掛金」が4億94百万円減少したこと等から、「負債合計」は、前連結会計年度末に比べ93百万円減少し95億74百万円となりました。

5 純資産の状況

「利益剰余金」が7億52百万円増加したこと等から、「純資産合計」は8億55百万円増加し206億65百万円となりました。

6 連結キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加額15億42百万円等の資金の減少要因があった一方、税金等調整前当期純利益17億6百万円や減価償却費8億9百万円等の資金の増加要因があったこと等から4億31百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出7億54百万円等の資金の減少要因があったこと等から6億47百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、親会社による配当金の支払額4億3百万円等の資金の減少要因があったこと等により4億17百万円の減少となりました。

この結果、当連結会計年度における現金及び現金同等物は67億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億33百万円減少いたしました。

### 会社概要 (2025年3月31日現在)

社名 株式会社ノザワ  
NOZAWA CORPORATION

創業 1897年8月17日

設立 1913年9月28日

資本金 24億4,900万円

従業員数 338名 (連結)

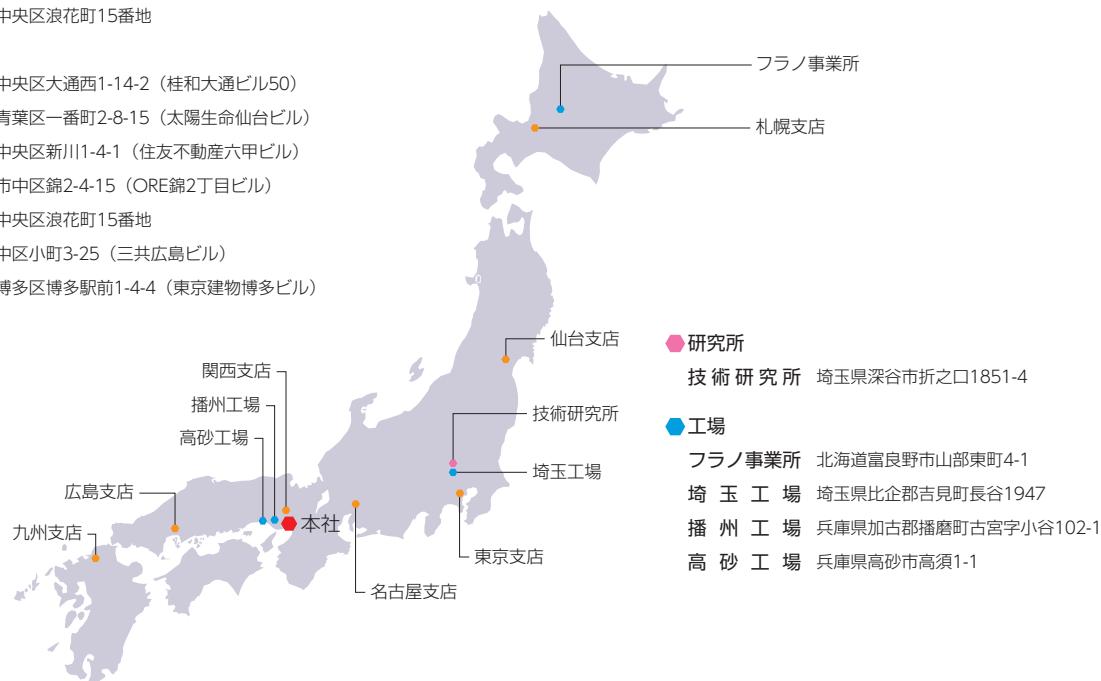
子会社 株式会社ノザワ商事  
株式会社ノザワトレーディング

### 役員 (2025年6月27日現在)

代表取締役社長	野 澤 俊 也
専務取締役	三 浦 竜 一
常務取締役	米 田 剛 男
常務取締役	邑 橋 将 正
常務取締役	松 村 昭 二
取締役	濱 本 康 二
取締役	藤 井 田 健 二
取締役	永 福 田 光 太
取締役	小 吉 鹿 田 菊 彦
取締役	金 井 田 裕 一
取締役	小 川 井 川 一 佳
取締役	岡 所 伸 一

### ネットワーク (2025年4月1日現在)

- 本社 神戸市中央区浪花町15番地
- 支店
  - 札幌支店 札幌市中央区大通西1-14-2 (桂と大通ビル50)
  - 仙台支店 仙台市青葉区一番町2-8-15 (太陽生命仙台ビル)
  - 東京支店 東京都中央区新川1-4-1 (住友不動産六甲ビル)
  - 名古屋支店 名古屋市中区錦2-4-15 (ORE錦2丁目ビル)
  - 関西支店 神戸市中央区浪花町15番地
  - 広島支店 広島市中区小町3-25 (三共広島ビル)
  - 九州支店 福岡市博多区博多駅前1-4-4 (東京建物博多ビル)



(2025年3月31日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数 30,000,000株

発行済株式の総数 12,075,000株

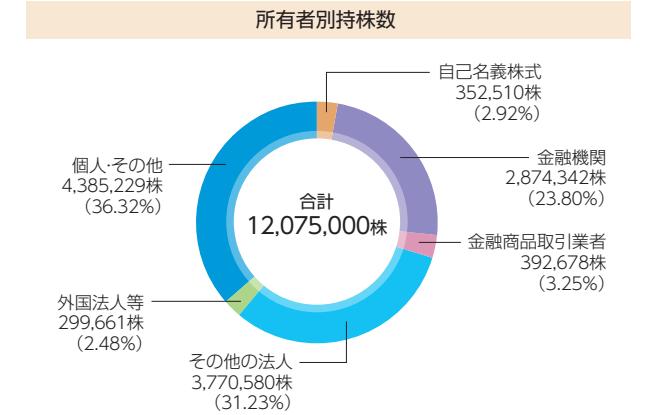
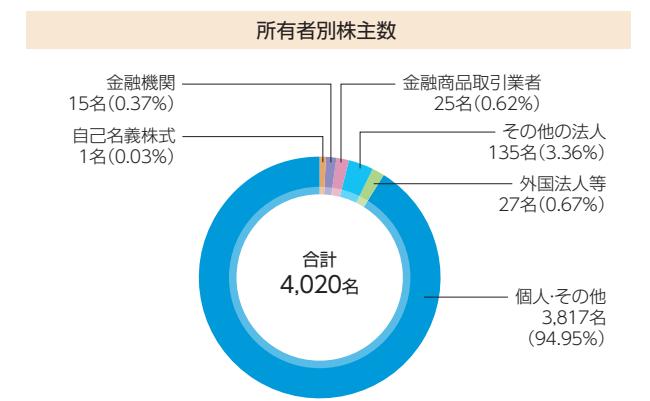
株主数 4,020名

### 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ノザワ取引先持株会	589	5.03
株式会社三井住友銀行	567	4.84
神栄株式会社	486	4.15
日本生命保険相互会社	436	3.72
損害保険ジャパン株式会社	398	3.39
CBC株式会社	301	2.57
日工株式会社	284	2.42
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	262	2.23
株式会社トクヤマ	262	2.23
ノザワ従業員持株会	250	2.13

(注) 持株比率は自己株式 (352,510株) を控除して計算しております。

### 株式分布状況



### ◇◇◇◇ ホームページのご案内 ◇◇◇◇

- URL <https://www.nozawa-kobe.co.jp>  
当社ホームページでは、株主・投資家の皆様によりわかりやすい情報発信に努めてまいります。
- URL <https://www.asloc.co.jp>  
押出成形セメント板「アスロック」の特設サイトです。
- URL <https://www.nozawa-kobe.co.jp/alcus/>  
超高層建築向けカーテンウォール「アルカス」の特設サイトです。

### ◇◇◇◇ アスロック公式SNSのご案内 ◇◇◇◇

- アスロック公式Instagram  
アカウント名: @asloc\_official  
URL: [https://www.instagram.com/asloc\\_official/](https://www.instagram.com/asloc_official/)
- YouTubeアスロック公式チャンネル  
チャンネル名: アスロック公式チャンネル  
URL: <https://www.youtube.com/channel/UCMtr-PyR5pQQd8MVRzFeVIQ/>